

岡倉天心・五浦発信プロジェクト

課外活動

地域交流

代表者：人文学部 人文社会科学部 2年 長永 勇太
人文学部 人文コミュニケーション学科 2年 丹治彩弥乃

連携先

株式会社 サザコーヒー
店舗事業部 部長 砂押律生
(株)五浦観光ホテル 別館 大観荘
代表取締役社長 村田章
北茨城市役所 環境産業部
商工観光課 駒木根良徳
茨城大学五浦美術文化研究所

顧問教員

茨城大学工学部都市システム工学科
一ノ瀬 彩 (工学部・助教)

参加者

長永 勇太 (人文学部社会科学科 2年)
小松崎流緋 (人文学部社会科学科 2年)
木村 愛実 (人文学部社会科学科 2年)
米川 緩 (人文学部社会科学科 2年)
菊地 純 (人文学部人文コミュニケーション学科 2年)
丹治彩弥乃 (人文学部人文コミュニケーション学科 2年)
高矢 綾子 (人文学部人文コミュニケーション学科 2年)
佐々木春菜 (人文学部人文コミュニケーション学科 2年)
宮本 夢花 (人文社会科学部人間文化学科 1年)
鈴木 楓子 (人文社会科学部現代社会学科 1年)
田中 響 (理学部理学科 生物科学コース

1年)

友常 果歩 (筑波大学)
鎌田 瑞希 (筑波大学)
村田真之介

プロジェクトの概要

茨城大学にゆかりのある、岡倉天心の思想や茨城県北茨城市五浦地域の魅力の発信を行い、本学の学生をはじめとした、多くの人々に岡倉天心や五浦について知ってもらうことを目的とする。そのために、多くの人々に天心の思想や五浦の文化に触れる機会、場所を提供する。方法として、本校の小泉晋弥教授や、清水恵美子教授に天心や五浦に残る歴史について学んだり、それらを活かした学生考案のWSや魅力発信商品の開発等があげられる。また、こういった活動を継続して行う。活動場所は茨城県北茨城市五浦地域を中心するが、WS等は移動しても行えるため、五浦以外の場所でも行っている。企画を学生が考案し製作する作業は大学で会議を行い進めている。連携先であるサザコーヒーとは五浦コーヒーという魅力発信商品の開発で深く関わらせていただき、五浦コーヒーの商品販売も学生が行い、商品を通して地域の魅力発信を行っている。

プロジェクトの成果報告

【プロジェクトの成果】

学生参画による地域プロモーション活動として以下のことを行ってきた。

《地域懇談会》～五浦ならではの「おもてなし」をみんなで考える～

天心邸にて、地域参画による商品開発・プロモーションのアイデアワークショップや教員によるレクチャーを開催した。



「学生と地域の人とのレクチャーの様子」

《珈琲パフォーマンストレーニング》

プロモーション活動に向けて五浦コーヒーの美味しい淹れ方や知識をSAZAコーヒーのプロフェッショナルから学んだ。



「五浦コーヒーの淹れ方を教わる学生」

《珈琲茶席デモンストレーション》

天心邸にて、地元関係者を招いての珈琲茶席デモンストレーションを実施。学生によるパフォーマンスを披露し、活動のコンセプトを紹介した。

《珈琲茶席と珈琲画ワークショップによる五浦のおもてし活動》

天心邸にてSAZAコーヒー会長とのコラボレーション企画「珈琲茶席」を開催。庭では珈琲画体験企画を行った。絵を描くことで、天心が愛した風景を眺めながらゆったり時間を過してもらおう場をデザインした。



「珈琲茶席の様子」

《国際岡倉天心シンポジウム2016》

水戸で開催された国際シンポジウムにて、五浦コーヒーのお披露目と五浦をプロモーションする珈琲パフォーマンスを媒介として五浦や天心について来場者との対話の場をデザインした。

《天心生誕祭・五浦コーヒーのギフト提案》

天心の誕生日とバレンタインが同日であることから、茨大サザコーヒー店に五浦コーヒーと豆チョコのセットギフトを提案。学生作の天心のメッセージカードを添えた茨大店限定ギフトを販売。また茨城新聞にも取り上げられた。



「学生作天心メッセージカードを添えた茨大店限定ギフトと掲載された茨城新聞(2017年2月16日)」

《仲秋観月会》

天心が昔に行ったとされる観月会を再現し、五浦現地で学生手作りの屋台で珈琲画のWSを行った。あわせて五浦コーヒーの販売とパフォーマンスも行った。

《五浦コーヒー茨城デザインセレクション知事選定の受賞》



「手作りの屋台でWSを開催している様子」

茨城大学とサザコーヒーで共同開発した五浦コーヒーを茨城デザインセレクションへ学生の五浦魅力発信活動とともに応募し、知事選定を受賞した。これをきっかけに、ひたちなか市のファッションクルーズ内で行われたデザインセレクションイベントでも五浦コーヒーの販売とパフォーマンス、WSを行った。

《五浦写真展の開催》

茨大生をターゲットに、茨城大学図書館1階の展示室にて、五浦フォトジェニック、イ

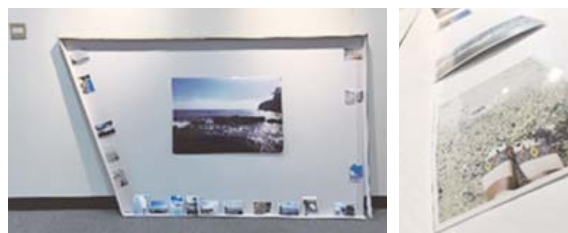


「地域魅力発信商品の五浦コーヒー」

ンスタ映えをテーマに五浦の魅力を詰めた写真展を開催した。展示には段ボールを使用したシンプルながら雰囲気のでるものを作り上げた。

《TEAISM便り》

活動紹介や五浦の魅力を発信するために、

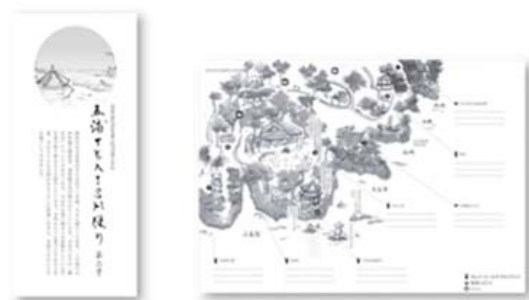


「実際に学生が五浦現地で撮影した写真を展示した」

「天心からの便り」というコンセプトで作成した。五浦で感じたことをマップに書くことができたり、五浦コーヒーや天心についての情報も盛り込んでいる。天心からの便りのイメージをイラストやテキストで表した。

《珈琲を使った珈琲画ワークショップ》

珈琲を濃く溶いてインクにし、作成したコースター・紙袋・ハガキを選び五浦の景色



「原稿もすべて学生が手掛けたTEAISM便り」

を眺めながら自由にイラストや文字を描いてもらうWSを実施。WSを通して五浦をゆっくり眺め、対話を楽しむ。その時に描いた物は持ち帰ってもらい、五浦で過ごした時間を思い出すものとした。

りも少ないので、もっと地域と近く深く関わられるような企画を考案していきたい。

《TEAISMのテキスト を用いて作成したオ



「珈琲をインクにイラストを描いたコースターとWSを行っている様子」

【プロジェクトの今後の展望】

今後の展望としては、これまでの活動で外部の色々な方たちとのつながりをもてたので、さらに連携しながら、学生のアイデアや力を活かした、さらに魅力的な発信活動をしていきたいと思う。

リジナルグッズ》

Tシャツ、手ぬぐい、トートバッグ、SAZAコーヒーのユーズドのエプロンにシルクスクリーンでTEAISMのテキストや五浦コーヒーの文字、珈琲の判、大学のロゴを印字。TEAISMを発信するコミュニケーショングッズとして、WSや展示・パフォーマンスに活用。

【プロジェクトの今後の課題】



「学生作成の発信グッズ」

今後の課題としてまず、情報発信をもっと活発に行えるようにしたい。企画ごとにチラシを作成してSNS上で発信したり、Twitterアカウントを利用し情報発信を行っているが、SNSをあまり利用しない人にも情報をもっと発信していくための方法を考えていきたいと思っている。具体的には、自分たちの活動を定期的に更新していくHPの作成等を考えている。

また、五浦地域の人たちとの直接的な関わ